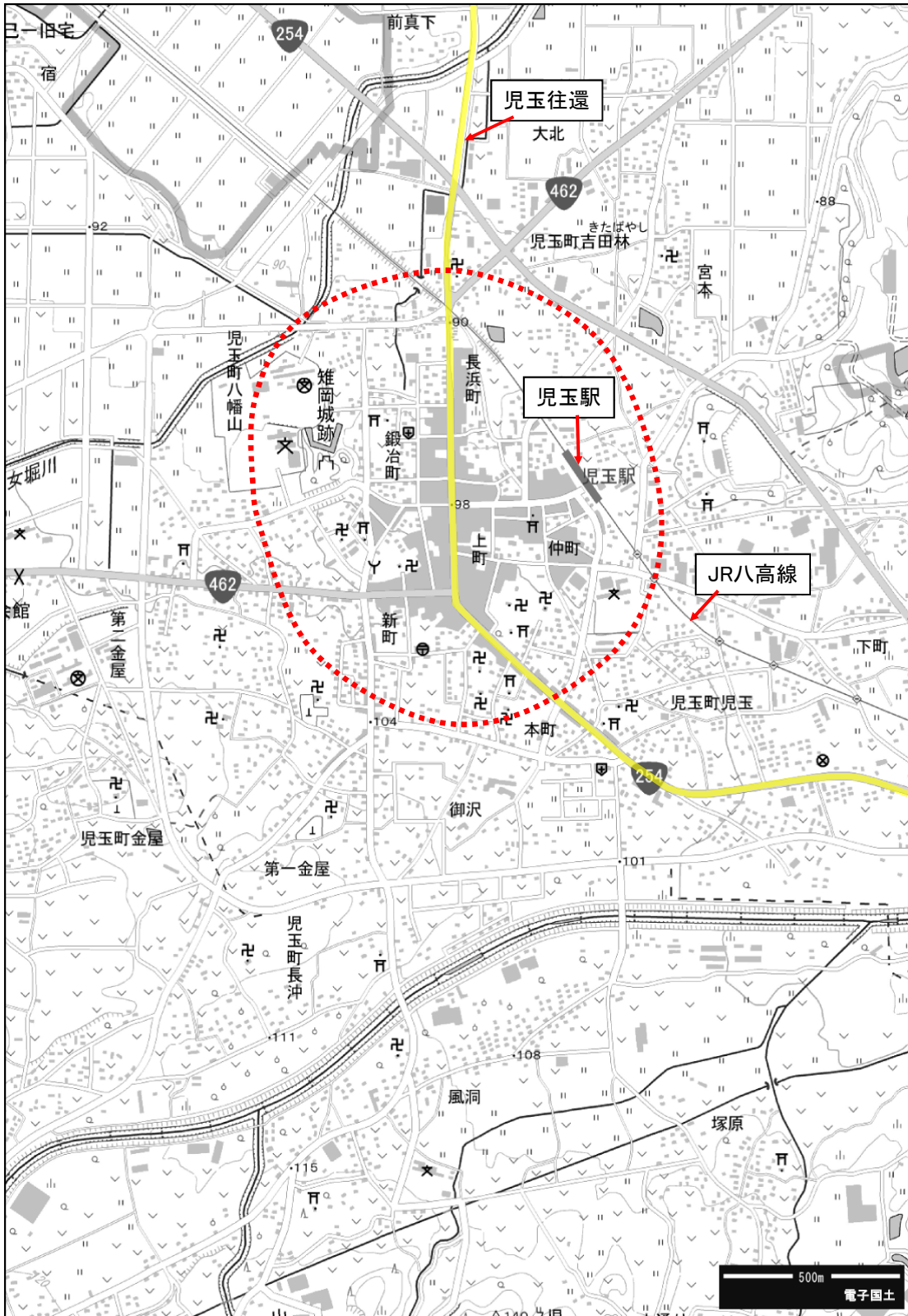


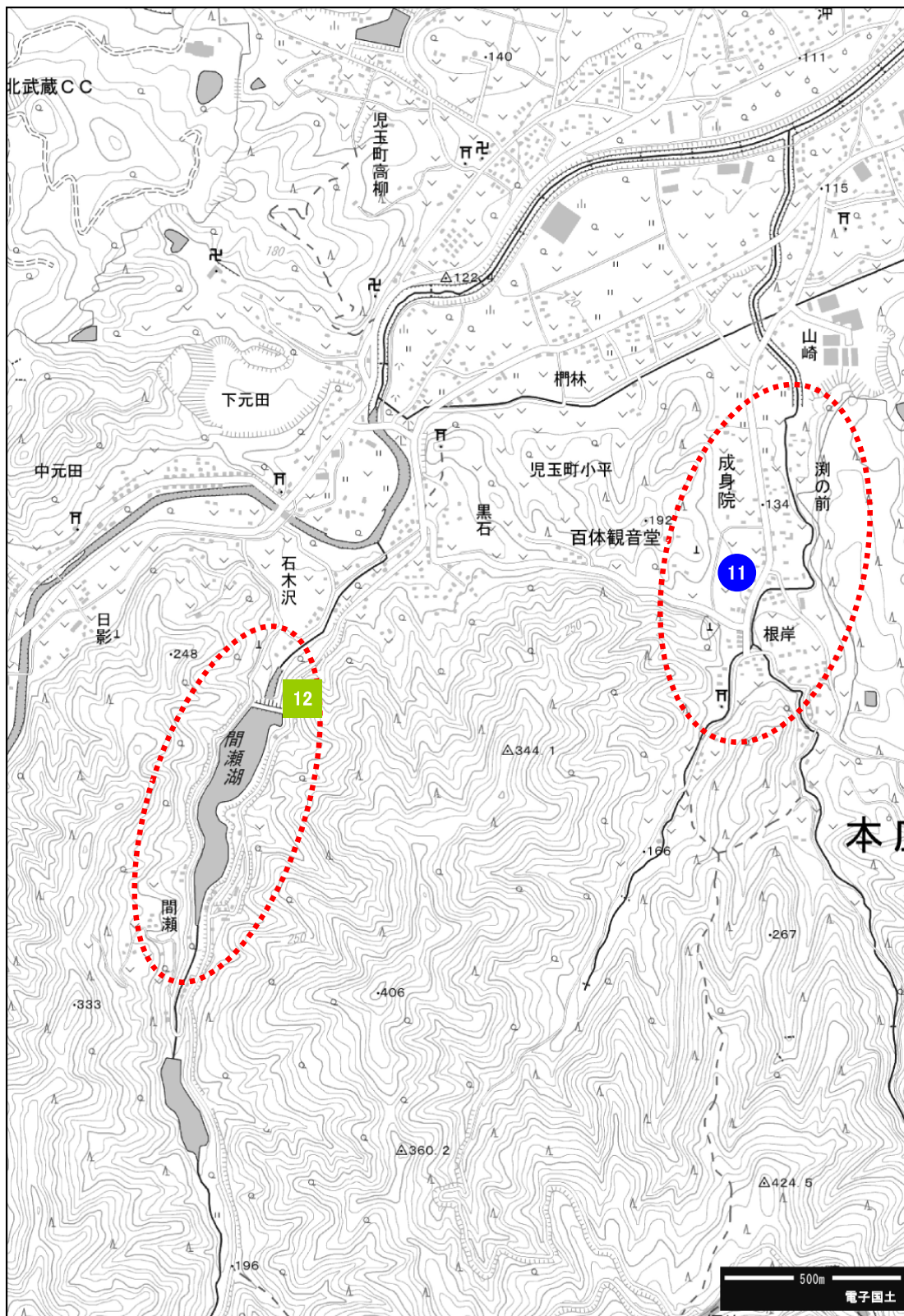
# 児玉



案内図

 調査範囲

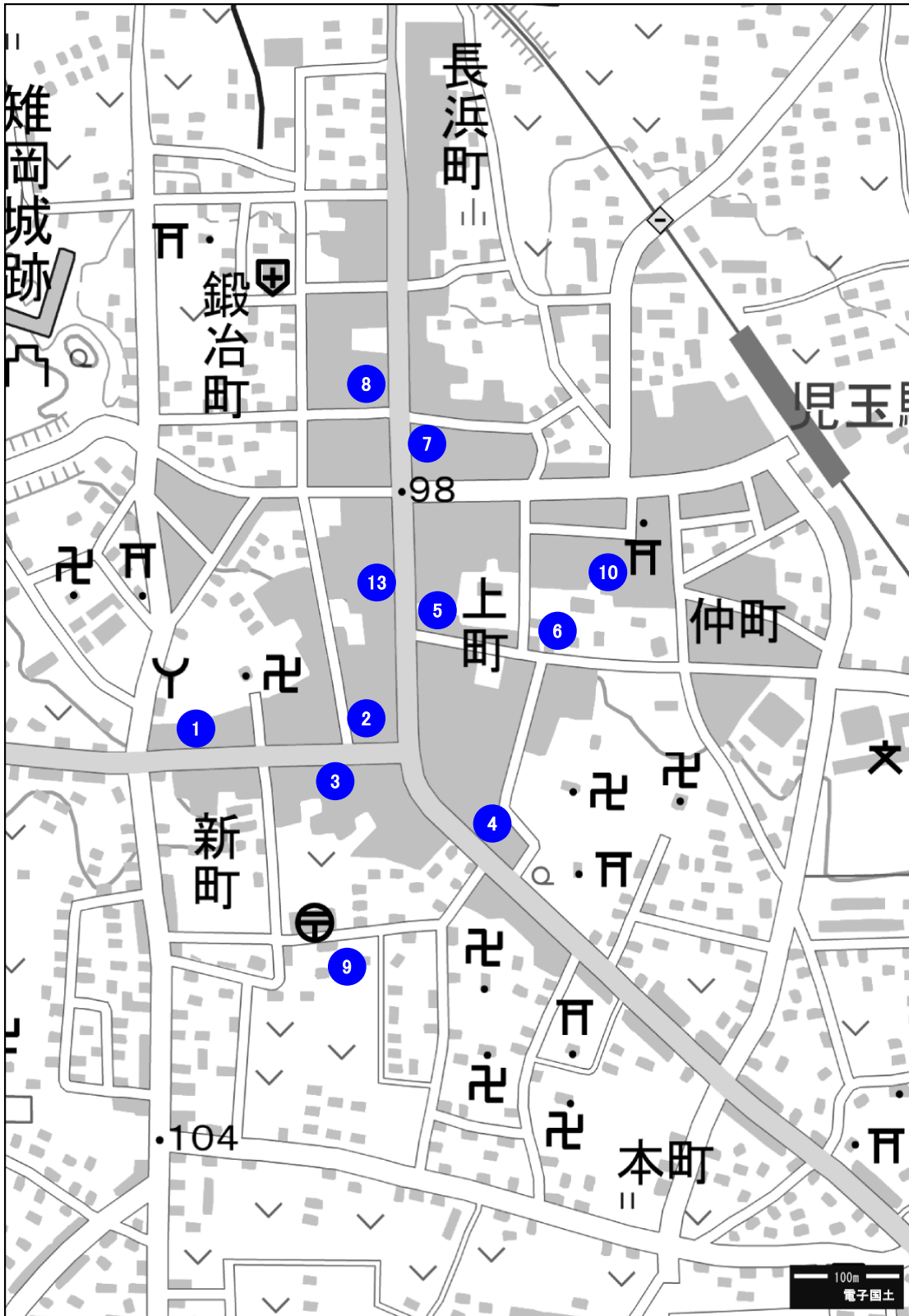
# 児玉



案内図

調査範囲

児玉



凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

## 児玉

競進社



川越・児玉往還は江戸から上州を結ぶ川越街道と児玉街道を合わせた28里半の道、その18番目の宿。また、鎌倉街道の宿場町、市場町としても栄えた。江戸時代の盲目の国学者 塙保己一の生まれた地として、武蔵七党のひとつ児玉党として歴史面でも有名。産業でも豊かな自然に恵まれたことから近代養蚕、製糸産業で栄華を誇った。

(写真は本庄市児玉町児玉付近)

1

店舗



黒塗りの蔵、店舗兼住宅、車庫が連なる。屋根に使われているのし瓦は嵩高く装飾的で、職人の技術や商売の繁栄を物語っている。

2

旅館



国道254号から分れる本庄鬼石線。ほどなくして、外壁を濃い板張りにした老舗旅館が現れる。その先には大きな鬼瓦の白壁の蔵が続き、ノスタルジックな景観。

3

店舗



安政2年創業の酒屋さん。建物は新しく建てかえられた蔵造り。町のパンフレットが設置されており、飲兵衛の駅としても情報基地となりシンボリックな存在である。

4

住宅



仲町のT字路を南下すると、スマートな白い蔵造りの住宅兼店舗がある。更に裏に蔵が続く。

5

店舗



古民家を改修して造られたお店。一見は新しそうにも感じるが、改装された部分と屋根や建具に見られる古材が渋みとなり、融合している。そのような発見は町歩きの醍醐味といえる。

6

住宅



児玉体育館から国道254号へ抜ける道の途中、黒塗りの門塙、赤い屋根の住宅を見つけた。

|   |   |  |         |
|---|---|--|---------|
| 7   | 店舗  | 9  | 旧配水塔    |
|                    |    |   |         |
| 元児玉郵便局の建物を美容院として活用している。蔵と看板建築がドッキングされ、至極個性的な外観。   | 煉瓦積み瓦葺の立派な建物でありながら、現在は使われていないのか、ツタに絡まれて偶然のコラボレーション。                                 | 住宅街の隙間から頭が覗く配水塔は昭和6年に建設され、当時の児玉町内5000人に水道水を供給した。どっしりとして、愛らしいフォルム。現在は時報塔として利用されている。   |         |
| 10  | 競進社   | 11   | -1 高窓の里 |
|                   |   |  |         |
| 明治27年建築。それまで自然任せだった養蚕の室温管理による温暖飼育法がここから広まった。4つの高窓が乗った屋根が特徴で、その小さな窓にも屋根瓦を施した手ぬかりの無い技と意匠。彩の国景観賞受賞。    | 高窓とは、養蚕が盛んだった時代に考案された屋根の上の換気のための櫓状窓のこと。2つ、3つ並んだものから、横に長いものなど、形式は家によりさまざま。           | 高窓の里は、先人の残してくれた高窓のある蚕室造りの家が現在9軒残されており『21世紀に残したい埼玉のふるさと自慢100選』にも選定された。彩の国景観賞も受賞。      |         |
| 12  | 間瀬湖   | 13   | 銭湯      |
|                  |  |  |         |
| 八年の歳月をかけ、昭和12(1937)年に完成した、東日本に現存する最古の農業用動式コンクリートダム。下部をアーチ状にくり抜いた橋はモダンなデザイン。平成12(2000)年に国登録有形文化財となる。 | 家と家との間の細い路地を覗きこむと、鮮やかな空色の建物が目に飛び込んできた。デザイン性のある古い看板建築の店舗は、2007年まで銭湯として営業していた。        |  |         |